

国際ビジネス・コミュニケーション1

月曜4限・学部・2.0単位

中嶋 圭介
(Nakashima, Keisuke)

2011年9月26日・10月3日(Lecture 1 & 2)
UNITY セミナー室4

今日のアジェンダ

- 自己紹介
- コース概要の説明
- チーム編成(6名 x 8チーム)
- 次回までの課題

自己紹介

- ❑ AUS・NZへの親善大使（転機①）
- ❑ 神戸外大・英米学科 ～ ボストン留学（転機②）
- ❑ 米シラキュース・大学院留学
- ❑ 米ワシントンDCでの就職と地球高齢化との出会い（転機③）
- ❑ 神戸外大・法経商コースへ（転機④）



CSIS

CENTER FOR STRATEGIC &
INTERNATIONAL STUDIES

コース概要の説明 (1)

□ 主題と目標

職業的、実務的英語運用能力の向上に主眼を置く。国内の日系・外資企業の職場を想定した英語力だけでなく、海外企業や国際機関での就職や業務遂行も視野に入れ、適切な英語表現の知識習得に留まらず、マナー、スタイル、スキルを含めたコミュニケーション術を学ぶ。

後期レクチャーの力点は、英語による「業務遂行能力」、特に英語による調査、分析、書類・プレゼンテーション形式での報告プロセスに関わる能力について理解を深めることにある。小グループに分かれ、学期を通して特定の業界動向・ 이슈を追い、定期的に英文メモランダムとして報告する。学期末にかけて課外研修として複数の企業訪問に出掛ける予定(希望者のみ)。

□ 評価の方法・基準

出席(25%)、クラス・パフォーマンス(10%)、課題1～4 (65%) を総合評価する。但し、課外研修 (希望制) に参加した者には、上記以外に追加評価点 (5～10%) を与える。期末試験は実施しない。

コース概要の説明 (2)

□ 履修にあたっての注意

- 5 回以上の欠席者に単位は認めない。
- PC メールアドレスを初回授業で提出すること。
- 担当教員とのメール連絡の公用語を英語とする。
- 一方的なレクチャー形式や知識の詰め込みではなく、教員と学生間の質疑応答、学生間の情報共有や互いの経験から学びあうことを重視。
- 履修継続を断念する際には、所属チームのリーダーと担当教員まで必ずその旨連絡する。

□ 教科書

- 必要に応じてプリント配布。
- パワーポイント・スライドは、ウェブ掲載。
NAKASHIMA ONLINE <http://www.knakashima.net>

□ 指定図書

今のところ無し。追って指示する。

コース概要の説明 (3)

□ 講義内容

- 前半は、英語による調査、分析、報告のサイクルに関する基礎的な知識やスキルセットについて。
- 後半は、小グループに分かれ、特定の業界動向・イシューについて定期報告。報告内容だけでなく、情報収集から報告・発表に至ったプロセスに関する議論も含めてディスカッションをリードしてもらいます。

課題1～4) 小グループに分かれ、学期を通して特定の業界動向・イシューを追い、定期的に英文メモランダムとして報告。(学期を通して4 回の予定。調査・分析内容を英文書面化したものの提出に加えて、その作業プロセスに関する報告を求めます。これらに加えて、各グループ内で他のメンバーのパフォーマンスをピア・レビューするためのコメントを提出。これらを総合評価します。)

コース概要の説明 (4)

□ オフィス・アワー

特に決まった曜日・時間は設定していない。

事前にメールでアポイントメントを取ること。

その際、メールの公用語は英語です。

授業に関わること、関わらないこと(就職・留学・その他)、歓迎です。

E-mail: info@knakashima.net

研究棟 807号室

次回までの課題

□ 次回までの課題

グループで一度集まり(難しい場合は、メール交信でも可)、学期を通してその動向を調査する業界について、話し合う。確定しなくてもよいが、少なくとも2～3のオプションをグループ内で決定しておく。